

目標達成計画

作成日: 平成28年10月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	職員の看取り支援の技術向上に活かさせて頂けるよう、看取り支援内容をホーム内の職員間で共有・検証・検討する仕組みの継続に期待をしています。	何度となく見取りを経験しているが、終末期を迎えるたびに不安と後悔が残ってしまう。これからは事前に利用者、家族十分な打合せのうえ、不安や後悔が軽減されるように努めていきたい。	終末期介護の外部研修、内部研修の充実と、日ごろから、利用者や家族の気持ちを、折に触れて確認していく。また、運営推進会議の場で、地域の方のご意見なども拝聴しながら、利用者、家族、介護者が納得のいく終末期介護を目指していく。	12ヶ月
2	49	入居者のADLの低下や個々人の想いも違い、個別対応にも工夫と労力が求められることと察しますが、今後も今迄同様に「利用者の思いに沿った支援」の継続に期待をしています。	利用者の気持ちを大切に、より一層利用者の希望に沿った、外出支援を強化していく。	利用者の「行きたいところベスト3」を作成し、可能な限り実現に向けて対策をとる。また、ご家族のいらっしゃる利用者は、家族にもそのリストを見せ、無理のない範囲で協力をしてもらう。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。